

校 報

や よ い

千種中学校

10 月 号

校 訓

正しく(正直) 強く(元氣) 仲よく(働き)

「よりよく生きていくために」

道德担当 蒲田 晃弘

秋風が心地の良い季節になりました。地域の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、千種中学校の教育活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。また、先日の第8回CHIKUSA中高合同体育祭においても、多くの保護者の方々にご来校いただき、こと重ねてお礼申し上げます。爽やかな秋晴れのもと体育祭が開催できたことを嬉しく思います。

さて平成三十一年に「道德」が「特別の教科 道德」として教科化されてから、今年で五年目を迎えます。これにより重要視されたことは、自己との対話や他者との対話を通し、道德的価値を多面的、多角的に捉えていくことです。中学校で学ぶべき内容(道德的価値)は、二十二項目あります。そのそれぞれの内容項目を生徒の生活レベルで捉えて、自己の価値観と他者の価値観を比較し、互いに意見を述べ合う授業実践や学校生活全般において、道德的実践に繋がるような教育活動が、私たち教職員には求められています。その二十二項目の中の一つに「より高い目標の達成をめざし、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる」という項目があります。心も体も成長期にある生徒たちは、今よりもよりよい自分をめざし、自分なり

の「より高い目標」を掲げて日々生活しています。例えば、「せめて正の数・負の数の計算ができるようになる」とか「次の試合までサーブを入れられるようにしよう」とか、小学校時代であれば、「二重跳びができるようになる」とか「一輪車が乗れるようになる」といった身近な目標を立てていた生徒もいるでしょう。そんな目標を立てた生徒に、しばらくしてから、「ちゃんとできるようになったか」と大人たちはつい「達成ありき」の声かけをしまいがちです。しかしこれでは内容項目に沿った声かけではないと思います。内容項目に照らせば、「困難や失敗を乗り越えて」の部分にスポットを当て、小学校では「くじけずに」に注目し、決めた目標に対して諦めずに立ち向かい、達成しようとして続けている姿勢を評価すればいいのです。ですから、「練習続けているか」とだけ尋ねれば良いのです。それを「できるようになったか」と性急に結果を評価しようとするから、生徒たちはやる気を失ったり、できなければ恥ずかしい(評価されない)と思ったりし、目標そのものすらも口にしなくなっていくのではないのでしょうか。

ふり返って考えてみますと、私たち大人もこれまでの人生で、数えきれないほどの目標を掲げ、数えきれない挫折や頓挫を経験しています。人は目標の達成や不達成を繰り返しながら、成長していくように思います。ですから自分自身をふり返り、もし、子どもたちが「練習を続けている」と答えれば、「えらいなあ」という素直に褒め、「やめてしまった」と言ったときは「そんなときもあるよな」と共感すればいいのだと思

うのです。そして、「また新しい目標を見つけた」という場合は、「応援しているよ」と励ます言葉がかけられれば、子どもたちは挫けることがあっても、また挑戦しようとする心が芽生えるのではないのでしょうか。「よりよく生きる」をめざす道德教育で大切にしたいことは、学校生活の中で、道德的実践に繋がる体験や経験を増やすと同時に、その上でどのように生徒に関わっていくか、どんな声かけができるかを考えることだと思えます。そして道德の授業では、教師も生徒とともに学ぶ存在であることを常に意識し、今後も道德教育の充実に努めていきたいと思えます。

リサイクル活動のお礼

七月二十八日(日)に実施しました、『P T A 小中高同リサイクル活動』におきまして、地域や保護者のみなさまのご協力をいただきまして、多くの収益を上げることができました。心よりお礼申し上げます。

表彰伝達

【中央市中学校新人大会】

- 女子卓球大会 団体戦 第三位 女子卓球部
男子卓球大会 団体戦 第三位 男子卓球部
女子バレーボール大会 第三位 女子バレーボール部
以上、西播中学校新人大会出場

【第四回 ささゆり杯 中学生女子バレーボール大会】

- 第三位 女子バレーボール部

【中央市読書感想文コンクール】

- 特選 九年 鎌田 沙菜
秀作 八年 中村 翠希
秀作 七年 土井 優花

10月の予定

- 10月のノー部活デー 15日(火)、21日(月)、22日(火)、23日(水) 24日(木)、29日(火)
スクールカウンセラー来校日 15日(火)、28日(月)
16日(水) たたら製鉄学習実習 [8、9年]
17日(木) 交通安全教室
18日(金) 西播新人大会壮行会
19日(土) 西播中学校新人大会(~20日)
22日(火) 市中学校駅伝競走大会
24日(木) 2学期中間テスト(~25日)

11月の予定

- 11月のノー部活デー 7日(木)、12日(火)、19日(火)、26日(火) 29日(金)、30日(土)
スクールカウンセラー来校日 16日(木)
2日(土) 第14回園小中高ふれあい文化祭
5日(火) 振替休業日
6日(水) 千種学園学校運営協議会
7日(木) 道德校内研究授業
11日(月) 到達度テスト[9年]
13日(水) 人権教室
26日(火) 進路説明会[9年]
28日(木) 文化財課・市民ワークショップ[8年]

九年级 命の授業

九月六日(金)

九年 岡 勇心

命の授業を通して、心のことや身体のこと、人との関わり方を学ぶことができて良かったです。男女で異なる考え方や行動など、これからの知識の一つとして生活していけるようにしたいです。そして今日、妊婦さんの体験をして、妊婦さんのしんどさを知ることができたので、もし子どもができた時には学んだことを思い出して少しでもサポートできるように、この体験を忘れないようにしたいと思います。

また、新たな生命の誕生のためには早急からの準備が大切だということが分かりました。僕は早くから準備をすることが苦手なので、今のうちに悪い癖を直して大人になったときに、「あのときに、あのときに悪い癖を直しておいて良かった」と思えるようにしたいです。



九年级 小中高合同稲刈り体験

九月二十七日(金)

九年 鎌田 空

稲を刈るときに鎌がうまく稲に入らなくて刈りづらかったけど、何度もやって

いくうちに手前に引けば簡単に刈れると分かり、そこから順調に稲を刈れました。実った稲穂を間近で見たことはあまりなかったもので、見た目以上に稲穂に重みがあることに驚きました。いつも食卓に並んでいる何気ない白ご飯も初めは小さな粒で、そこからたくさん稲穂をつけて大きく育ち、食べられるようになっていくんだと自分の目で確かめることができる機会となりました。自分の家の周りでも田んぼをやっている方は多くいますが、その方々が米を一から育てて収穫までするとは、僕たちが想像しているよりも何倍も多くの労力がかかっているということも学びました。



七年生 食育研究部公開授業

九月三十日(月)

七年 秋武 蓮

今回の食育の授業では、アユを解剖して内臓を見るところという貴重な経験をさせていただきました。アユの内臓を見て意外だと思ったことは、卵がとつても多くあったことです。内臓を見るまで考えたことはなかったのですが、これだけ多くの卵を産み付けても生き残れるのはほんの少しだけだと知り、生物にはいろんな子孫の残し方があることを実感しました。

他にも、お腹を切り開いているのに心臓が動いていることに驚きました。人生で初めて動いている心臓を見て、「こんな動きをするんだ。」と実際に見ないとわからない部分を知ることができました。今回のアユの解剖では、自分で生き物を解剖して、自分で殺すようで、とても罪悪感が湧きました。かわいそうと思いつつも、命のことについて学べました。これからは、罪悪感を感じながら調理してくれているお母さんと、食材となってくれた命に感謝しながら、美味しいご飯を食べたいと思います。

七年 荒堀 玲菜

今回の食育授業では、アユも生きていくことを知りながら解剖をしました。少しキツかったけれどきちんと謝ってできたので良かったです。

私はこういったことはしたことがなかったのですが、どんな道具を使って切るのだろうと考えていました。私はテレビで見ただけで、実際に使うのかと思っていました。けれど実際に使うのはハサミだと言われたのでびっくりしました。ハサミで切るのは難しく、薄く切れずに少し分厚くなっていました。

これから食卓に上る魚も生きていたことを考えながら食べるようにしたいと思います。



八年生 鉄研ぎ体験

十月二日(水)

八年 小河 愛真

私は鉄研ぎ体験をして、普段使っている包丁を細かく研ぐと紙をきれいに切れるというのを知り、時間があるときは家の包丁を研いでみたいと思いました。そして、いろんな鉄の道具を見て何をするものなのかを詳しく説明してくださり、すごく勉強になりました。また家で紹介してもらった道具があるか探してみたいです。この体験を普段の生活に活かしていきたいです。春名先生の授業はとっても楽しかったです。



【今月のメディアコントロール標語】

「スマホ見る どんどん減るよ しあわせが」

八年 茶谷 結衣

【お譲りください】

お家で使わなくなった刃物や 砥石はございませんか。

〜錆びたものでも大歓迎〜

※ 地域学習「千種字」で使用します

TEL 76-2003 まで